

心豊かでたくましく共に生きる子ども



# ひらかた

6月号

令和6年5月31日  
上尾市立平方小学校  
校長 大野 和孝



ホームページ

上尾市 平方小学校

検索

QRコード

## 水泳指導が始まります

校長 大野 和孝

令和6年度がスタートし、2か月が経ちました。5月の大型連休後も、子供たちは生き生きと活動し、充実した生活を送っています。

本日、プール開きがあり、これから本格的に水泳の授業が始まります。オリンピック・パラリンピックパリ大会を間近に控え、子供たちの水泳に対する関心も例年以上に高まっているように思います。小学校の水泳指導のねらいは、子供たちに水遊びや泳ぐ楽しさを体験させると共に、水遊びでの「安全に関する心得」を身に付けさせることです。学習内容では、水慣れの運動、泳ぐ運動から中学校へつながる泳ぎ方や技能の指導を計画しております。

最近、暑さが前倒しになっているせいか、夏季休業前に、水に関する事故のニュースを耳にします。これから、子供たちが川や海に行ったり、公共施設で水遊びをしたりする機会もあるのではないのでしょうか。指導に際しては、水泳前の健康観察から、準備運動、入水前のルールを徹底してまいります。水泳の楽しさと共に、水遊びを安全に行う態度や、「自分の命を守る」ことについても考える機会にしたいと思います。

水泳指導が始まるに当たり、定期健康診断の結果に基づき治療等が必要な場合は、専門医の診断を受けてください。併せて、子供の頭髪、爪なども清潔に保つようお願いいたします。特に、水泳の授業に際しては、子供の健康状態の把握が大切となります。基本的な生活習慣を改めて見直していただき、子供自ら自分の健康状態に関心をもてるようご家庭でもお声かけください。これら、一つ一つが、安全への意識を高め、水への正しい理解につながっていきます。ご協力よろしく願いいたします。

## 交通ルール「止まる・見る・待つ・確かめる」

小学生の交通事故発生状況のデータによると、6月の件数は他の月と比べて多く、発生時間帯は午後4時から午後6時に多発している傾向があります。日没の時刻が遅く、気候もよいことから外で遊ぶ機会が増えることが一因であると推察します。

低学年は、歩行中の事故が多く、高学年になるほど自転車乗用中の事故の割合が多くなっています。出会い頭の事故が最も多く、安全不確認や一時不停止などの原因によるものです。自転車の単独事故も多くなっているとの報告があります。平方小学校周辺は、幹線道路をつなぐ交通量の多い道路と、住宅街の間を通る比較的道幅が狭く入り組んでいる道路があります。学校では、一斉下校時や普段よりも早く下校する日課の際には、交通事故防止のための指導を行っています。

ご家庭でも、「止まる・見る・待つ・確かめる」の習慣を身に付けられるよう、繰り返しの声かけをお願いいたします。また、改正道路交通法により自転車のヘルメット着用が努力義務化されました。ヘルメットを着用することで、頭を守る以外に、普段から安全への意識を高めることにもつながります。

保護者・地域の皆様には、子供たちが交通ルールを守って生活できているか見守っていただき、ますようよろしくお願いいたします。